

速 報

各関係機関の長 殿

福岡県病虫害防除所長

平成14年度病虫害発生予察情報について（送付）

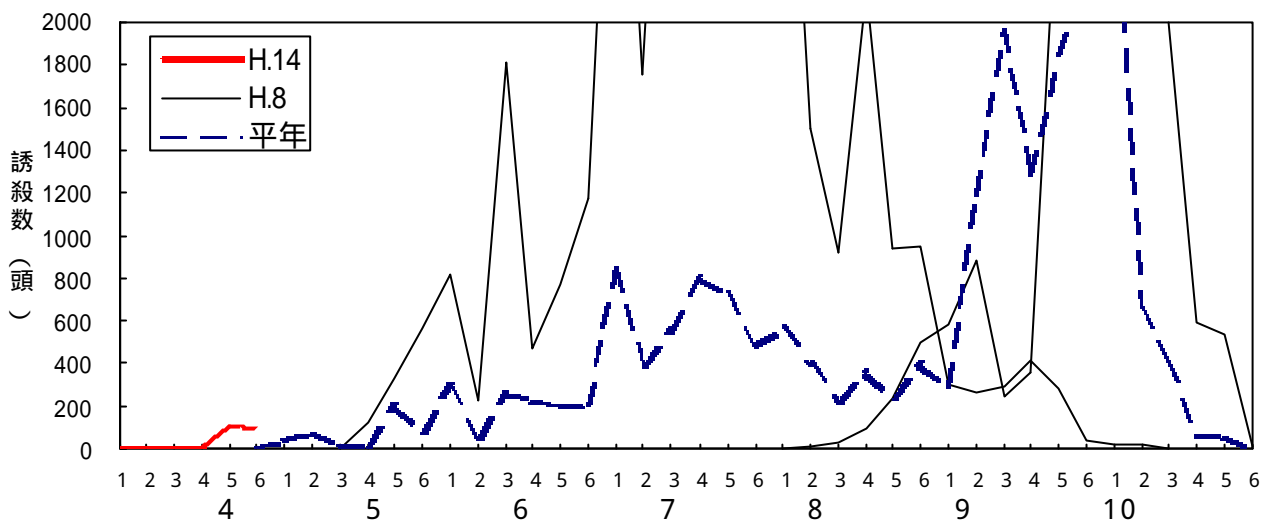
このことについて、速報第2号を発表したので送付します。

平成14年度病虫害発生予察速報第2号

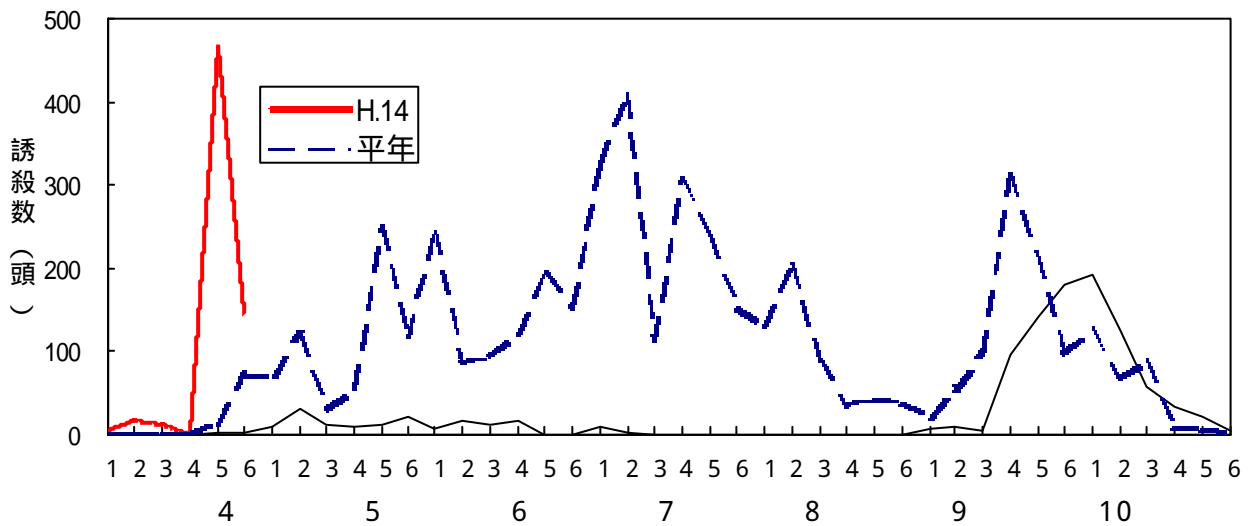
- 1 対象作物 カンキツ類（チャハ、ネアオカメムシ、ツアアオカメムシ、クサキ、カメムシ）
- 2 病虫害名 果樹カメムシ類
- 3 発生予想
  - （1）今後気温の上昇とともに、カメムシ類の活動がさらに活発となる可能性が高い。
  - （2）開花時よりカンキツ類に多飛来して花や蕾を吸汁し、新梢が縮れて落葉したり、落花する可能性が高い。
- 4 予想の根拠
  - （1）気象予報では5月の平均気温は高いと予想されている。
  - （2）4月末までの予察灯及び集合フェロモンへの誘殺数が非常に多くて過去最大であり、現時点でも誘殺数は多い（第1図、第2図）。
  - （3）すでに、サクランボ、ビワ、スモモ、ウメおよびモモなどでは被害がみられている。
  - （4）病虫害防除員の報告によると、すでにカメムシ類が多飛来したカンキツ園が県内各地に点在している。
- 5 防除対策
  - （1）園内外での発生状況の把握に努め、必要に応じて防除を行う。
  - （2）防除薬剤は、平成14年度果樹病虫害防除基準を参照し、農薬安全使用基準（収穫前使用規制日数等）を遵守する。
  - （3）カンキツでは開花期にあたるため、訪花害虫との同時防除で対応するが、その場合は、カメムシに効果のある農薬を選択する。

カンキツにおける訪花害虫とカメムシ類の同時防除剤

農薬名	濃度	使用基準	
		収穫前日数	回数
アドマイヤーフロアブル	2,000倍	14	3
スミチオン乳剤	1,000倍	14	5
エルサン乳剤	1,000倍	30	5



第1図 予察灯によるチャバネアオカメムシの誘殺虫数 (筑紫野市)



第2図 集合フェロモンによるチャバネアオカメムシの誘殺虫数 (筑紫野市)